

株式会社 ネグジット総研  
MMPR事業部**【製薬企業訪問実態調査2018年6月実績】****好印象度ランキング  
保険薬局トップは「東和薬品」、病医院トップは「中外製薬」**

医療経営コンサルティング、薬剤師を対象としたプロモーション及び調査を行う株式会社ネグジット総研(所在地:兵庫県神戸市、代表取締役社長:美和 啓樹)は、自社で保有する薬剤師調査モニター274名(保険薬局:184名 病院・診療所・クリニック:90名)を対象に製薬企業訪問実態に関する調査を実施し、結果を公開いたしました。

**■ 調査概要**

調査期間 2018年5月28日～2018年7月1日  
調査対象 薬剤師調査モニター:274名(保険薬局:184名 病院・診療所・クリニック:90名)  
調査方法 インターネット・リサーチ  
有効回答数 680件(保険薬局薬剤師:487件 病医院薬剤師:193件)

**■ 調査結果・トピックス**

保険薬局の好印象度ランキング、トップは12.5%で「東和薬品」が獲得した。

「東和薬品」を好印象と回答された方のうち半数以上が、2018年6月掲載の医薬品プロモーションが影響していることがわかった。

病医院の好印象度ランキング、トップは17.8%で「中外製薬」が2か月連続で獲得した。

次いで、14.4%で「協和発酵キリン(前月2位)」、11.1%で「第一三共(前月2位)」という結果となった。

**保険薬局における好印象度ランキング、トップは12.5%で「東和薬品」****2018年6月掲載の医薬品プロモーションによる好印象が半数以上占める結果に**

保険薬局における好印象度ランキング、トップは12.5%で「東和薬品(前月6位)」でした。

次いで、10.3%で「ファイザー(前月14位)」、8.7%で「アステラス製薬(前月1位)」、「持田製薬(前月6位)」という結果でした。また、訪問件数が多かったのは、「東和薬品」、「アステラス製薬」、「塩野義製薬」の3社でした。

「東和薬品」の、情報提供のあった医薬品として、「ラモトリギン」や「イルアミクス」などの、2018年(平成30年)6月15日(金)に薬価収載されました新規ジェネリック医薬品の好印象が半数以上を占める結果となりました。

「ファイザー」は「リリカ」、「持田製薬」は「グーフイス」、「アステラス製薬」は「スージャヌ」と、先発品のプロモーションに好印象を得たようです。

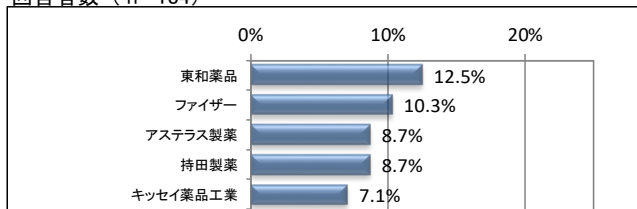
対象データ: 2018年5月28日～7月1日

## 〔 保険薬局 〕 好印象度と、その訪問目的・内容

### 保険薬局における好印象度

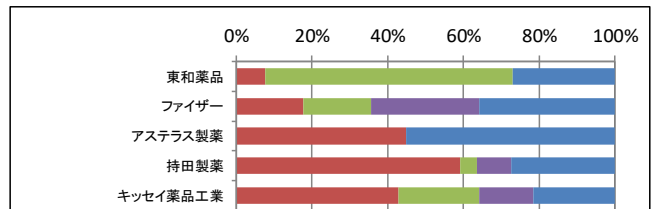
最も良い印象を受けた回答数／アンケート回答者数nで算出。「訪問件数」×「最良率」の指標で、好印象度の大きさを表す。

回答者数 (n=184)



### 好印象時の訪問目的・内容

好印象を受けた企業の訪問目的・内容の内訳(複数回答)。  
※左記の好印象度を100%にしたときの比率



出典:「製薬企業訪問実態調査」ネグジット総研調べ(2018)

## 病医院における好印象度ランキング、17.8%で「中外製薬」が2か月連続トップ 「テセントリク」や「アバスチン」の情報提供が好印象

**病医院における好印象度ランキング、トップは17.8%で「中外製薬(前月1位)」でした。**

次いで、**14.4%で「協和発酵キリン(前月2位)」**、**11.1%で「第一三共(前月2位)」**という結果でした。

「中外製薬」の情報提供のあった医薬品として、「テセントリク」や「アバスチン」のプロモーションが行われていたようです。これは、2018年3月26日にリリースされた『第III相臨床試験「IMpower150試験」において、テセントリク®とアバスチン®、カルボプラチン、パクリタキセルの併用は、アバスチンとカルボプラチン、パクリタキセルの併用に比べ進行肺癌の患者さんの生存期間の延長を示す』に、関連したプロモーションではないでしょうか。

**「協和発酵キリン」は「オルケディア」や「リツキシマブ」、「第一三共」は「リクシアナ」などのプロモーションが好印象を得たようです。**

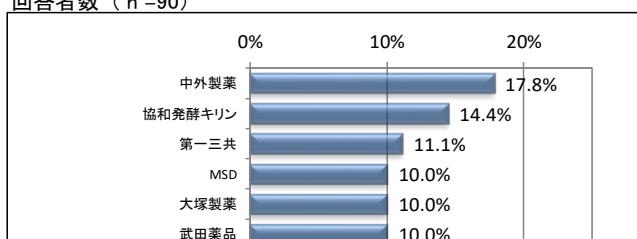
対象データ: 2018年5月28日～7月1日

## 〔 病医院 〕 好印象度と、その訪問目的・内容

### 病医院における好印象度

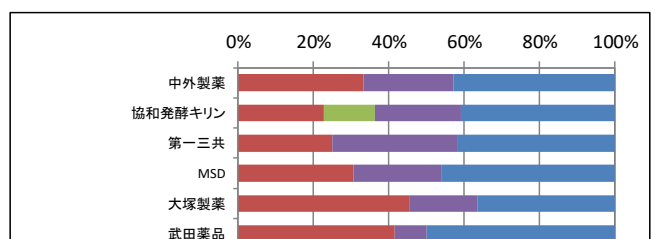
最も良い印象を受けた回答数／アンケート回答者数nで算出。「訪問件数」×「最良率」の指標で、好印象度の大きさを表す。

回答者数 (n=90)



### 好印象時の訪問目的・内容

好印象を受けた企業の訪問目的・内容の内訳(複数回答)。  
※左記の好印象度を100%にしたときの比率



出典:「製薬企業訪問実態調査」ネグジット総研調べ(2018)

## 医薬品キーワード、保険薬局は初登場5製品のうち4製品が2018年6月に薬価収載された新規ジェネリック医薬品。病医院は「ゲーフィス」がトップ

**保険薬局の医薬品キーワード、トップは7.4%で「イルアミクス」でした。**

次いで、5.7%で「ゲーフィス」、3.7%で「スージャヌ」という結果になりました。

今回、初登場5製品のうち4製品が2018年6月に薬価収載された、新規ジェネリック医薬品でした。

**病医院の医薬品キーワード、トップは3.1%で「ゲーフィス」でした。**

医薬品キーワード10製品中3製品の薬効分類は「その他腫瘍用薬」で、薬効分類のランキングでトップになりました。また、10製品中1製品の薬効分類は「他に分類されない代謝性医薬品」ですが、薬効分類のランキングでは2位となり、ランキング以外にも多数の医薬品が含まれていることがわかります。

医薬品キーワード・薬効分類							
【薬局】							
2018年5月実績		(n= 288)		2018年6月実績		(n= 487)	
順位	医薬品キーワード	件数	割合	順位	医薬品キーワード	件数	割合
1	ゲーフィス	19	6.6%	1	NEW イルアミクス	36	7.4%
2	スージャヌ	15	5.2%	2	↓ ゲーフィス	28	5.7%
3	オキシコンチン	8	2.8%	3	↓ スージャヌ	18	3.7%
4	レルベア	7	2.4%	4	NEW ミノドロロン	17	3.5%
5	デザレックス	5	1.7%	5	NEW パルモディア	16	3.3%
	フェノフィブラート	5	1.7%	6	NEW ラモトリギン	10	2.1%
	ヘパリン類似物質	5	1.7%	7	NEW ナルフラフィン	8	1.6%
	リクシアナ	5	1.7%	8	↑ ユリーフ	7	1.4%
9	イニシンク	4	1.4%		↓ リクシアナ	7	1.4%
	トランサミン	4	1.4%	10	↓ イニシンク	6	1.2%
【病院】							
2018年5月実績		(n= 141)		2018年6月実績		(n= 193)	
順位	医薬品キーワード	件数	割合	順位	医薬品キーワード	件数	割合
1	テセントリク	6	4.3%	1	↑ ゲーフィス	6	3.1%
2	レキササルティ	5	3.5%	2	↑ オルケディア	5	2.6%
3	オプジーボ	4	2.8%		NEW タケキャブ	5	2.6%
	ゲーフィス	4	2.8%		→ レキササルティ	5	2.6%
	スージャヌ	4	2.8%	5	↓ テセントリク	4	2.1%
	リクシアナ	4	2.8%		↑ リツキシマブ	4	2.1%
7	アブラキサン	3	2.1%	7	NEW アバスチン	3	1.6%
	インフリキシマブBS	3	2.1%		↑ イーケブラ	3	1.6%
	ベルソムラ	3	2.1%		NEW エビリファイ	3	1.6%
	レンビマ	3	2.1%		NEW エルネオバ	3	1.6%

出典:「製薬企業訪問実態調査」ネグジット総研調べ(2018)

[本件に関するお問合せ]

株式会社ネグジット総研 MMPR事業部 (担当:本澤)

〒650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町85-1 ベイ・ウイング神戸ビル5F

TEL : (078)393-2162

FAX : (078)393-2180

E-mail : [mmpr@yakuzaishi-di.net](mailto:mmpr@yakuzaishi-di.net)

URL : <http://www.mmpr.jp>